

生活環境

目標1:環境にやさしく資源を有効に活用する循環型社会を目指すまち

令和7年3月末 達成目標

市民1人1日当たりのごみ排出量 500g

リサイクル率 25.0%

※令和3年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア エコライフスタイルの実践

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1) エコを意識しながら生活するライフスタイルの実践	エコライフ たきかわ (通称:エコ たき)	市民 事業者	◆ 新たな市民運動「エコライフたきかわ」に参加し、その取り組みを 実践します。	◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化 防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり 地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝 川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	○	○	○	○	-	-					【評価】 ◆ 平成28年度から令和元年度までは環境 省の補助事業を活用し、環境学習リー ダーを養成してきたが、補助事業終了後 も滝川市独自で取り組みを進めたこと、 令和3年度は新型コロナウイルス感染予 防のため、一部形態を変えながら実施し たことを評価する。 【課題】 ◆ 滝川市の1人1日当たりのごみ排出量 は、ごみの分別方法の見直しや啓発活 動などの取り組みにより減少傾向にある が、国や北海道のごみ排出量を上回っ ている。社会情勢の変化に伴い、プラス チックごみ分別など収集形態も変更が考 えられることから、ごみ減量と併せて検 討する必要がある。
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた 「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、 高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感 染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○					
				◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、 滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ 削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実 施	○	○	○	○	-	-					
				◆ 滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部!」(以下、「エコ部!」という。)並 びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環 境教室の実施	-	○	-	-	-	-					
				◆ 空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられて いる高齢者講習会及び卒業生を対象とした講習会において、エコドライブ 講習会を実施。また、エコドライブに特化したメールマガジンを令和元年度 まで配信	○	○	○	○	-	○					
				◆ 空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイ クルフェア」でのエコカー展示(水素燃料発電装置搭載)とエコドライブシ ミュレーターによるエコドライブ体験ブースの出展	☆	○	☆	○	☆	☆					
				◆ 「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにし て、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示することにより、公共交通機 関の利用並びに「エコライフたきかわ」への参加を促進	-	○	○	○	-	-					
				◆ 市内全保育所、空知自動車学園、市立図書館と連携した「エコドライブ」啓 発ぬりえ展示の実施(同時にクールビズ、ウォームビズ啓発展示も実施)	-	○	○	○	-	○					
				◆ 啓発についての情報発信 プレス空知に掲載(平成28年度から) FMG‘Skyでの番組放送(平成28～29年度、令和3年度) 地元情報誌SORAIに掲載(平成28年度) 北海道新聞空知版(発行数63,000部)に掲載 (平成29年度から令和元年度)	○	○	○	○	-	○					
				◆ 平成27年度に作成した滝川西高校美術部による「エコたき」普及キャラク ター・推進ポスター・チラシを環境月間時の市立図書館、滝川市リサイク ルフェア等の市内イベント時での配布。また、「エコたき」チラシを全世帯に 配布したほか、平成28年度に滝川商工会議所と連携し各事業所へ配布、 毎年のリサイクル推進員へチラシ配布を実施	○	○	○	○	○	○					

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				◆ 環境月間の環境展示の実施(平成29年度までは市内全低学生が実施した「エコたき日記」の展示も実施)	○	○	○	○	○	○					
				◆ 滝川市立江陵中学校1年生、滝川市立開西中学校1年生への環境教育授業実施	-	○	○	○	○	○					
				◆ 環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用した「COOL CHOICEでエコたき」事業の実施	○	○	○	○	-	-					
				◆ 子ども達を対象にごみとリサイクルに特化し「エコたき」をテーマにしたイベント「エコまつりin美術自然史館」を國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科並びに「エコ部！」が主体となって実施	○	-	-	-	-	-					

イ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1)ごみの減量化(リデュース)・分別	情報収集・発信	市民事業者	◆ ごみの減量化などに関する学習会や講演会などに参加します。	◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施	○	○	○	○	-	-					【評価】 ◆ ごみ減量対策として、ごみの分別を推進し、資源として再利用可能なものについて、1年を通じ回収拠点を設置し、回収していることを評価する。 【意見】 ◆ 資源回収は容器が缶からペットボトルへの変更や、容器そのものが薄くなり軽量化されている。今まで通りの回収数で重量が少なくなっていることは、環境の面から望ましいことである。 ◆ 資源ごみとして回収されておらず、燃やせるごみや燃やせないごみとして出されている資源物を資源回収に誘導する方法を検討いただきたい。
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	○	○	○	○	-	-					
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○					
		市	◆ ホームページやパンフレットなどを利用し、ごみの分別方法や減量化の啓発を行います。	◆ ごみ分別一覧表(A3サイズ)を広報3月で全世帯に配布	-	○	-	-	-	-					
				◆ ごみ回収のその後…のチラシを作成し、ホームページ上に掲載	○	○	○	○	○	○					
			◆ ごみの減量化に必要なごみを出さない生活のあり方についてイベントやホームページなどで啓発します。	◆ ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知	○	○	○	○	○	○					
				◆ 拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施	○	○	○	○	○	○					
			◆ ごみの減量化などに関する学習会や講演会などの開催に努めます。	◆ 市内中学校において、ごみの減量や処理方法についての環境教育授業を実施	○	○	○	-	-	-					
				◆ 出前講座「教えて！ 私たちのごみはどこへ行く？」を開催。燃やせるごみの中から「雑紙」を資源ごみとして分別し、ごみの量を減らし、ごみ袋の節約になることを説明するとともに、今後施行されるプラスチックごみの分類についても説明を行いました。	-	-	-	-	-	○					
	排出抑制の取り組み	市民	◆ マイバッグを利用します。	◆ ごみ回収のその後…のチラシを作成し、ホームページ上に掲載	○	○	○	○	○	○					
			◆ ものを大切に使うことを基本とし、ごみを出さない生活を心掛けます。	◆ 拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施	○	○	○	○	○	○					
				◆ 広報にて定期的にごみ処理の注意点などを掲載	○	○	○	○	○	○					

[illegible]

[illegible]

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
			◆ エコドライブに関する情報の提供に努めます。 ◆ LED照明などの省エネルギー機器の導入や普及に努めます。 ◆ 町内会などが維持管理する街路灯のLED切替促進に努めます。 ◆ 公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設の長寿命化を図るための省エネルギー化を含む計画的な修繕に努めます。 ◆ 環境省が策定した事業者向けのCO2削減対策について、情報提供に努めます。												
3) 再生可能エネルギーの利用促進	情報収集・発信	市民事業者	◆ 再生可能エネルギーに関する知識と理解を深めます。	◆ 「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施	-	○	-	-	-	-					
			◆ 再生可能エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	◆ ホームページに市内公共施設に設置した太陽光パネルの発電量等の再生可能エネルギー関連の情報を掲載	○	○	○	○	○	○					
		市	◆ 再生可能エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆ 再生可能エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。 ◆ 廃棄物処理施設における発電その他公共施設における再生可能エネルギー活用事例などの情報提供に努めます。												
	再生可能エネルギーの導入	市民	◆ 再生可能エネルギーについての情報収集・学習に取り組み、再生可能エネルギーの導入を検討します。	◆ 生ごみ、下水道の汚水によるメタンガス発電 可燃ごみ焼却による発電	○	○	○	○	○	○					
				◆ ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載	○	○	○	○	○	○					
		事業者	◆ 再生可能エネルギーの導入を検討します。	◆ (株)IHI環境エンジニアリング・IKE、ラサ工業(株)と共同研究協定の締結を結び、利用度の低い籾殻を燃料として活用する燃焼試験を実施	○	○	○	-	-	-					
		市	◆ 再生可能エネルギーの導入を検討するとともに普及・啓発に努めます。	◆ 駅前広場の整備工事開始 小型風力と太陽光のハイブリッド街路灯や、太陽光発電設備を屋根に設置した駐輪場を設置	○	○	○	○	○	○					

[illegible]

イ その他の地球環境問題への対応

[illegible]

目標3:身近な自然と触れ合うことでその大切さや素晴らしさを実感できるまち

- ・令和7年3月末 達成目標
- ・エコネット登録団体の自然保護活動参加人数 計画期間累計8,700人
- ・農業体験授業（事業）の実施率 80%以上の実施率
- ・※令和3年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 身近な自然環境の保全と活用

[illegible]

イ 豊かな農業環境の保全と活用

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント	
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
1) 環境にやさしい農業や地産地消などの推進	減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の普及・啓発	市民	◆ 減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の理解を深めます。	◆ 生産者のほ場等での田植え・稲刈り等の農業体験を通じ、環境保全型農業の取り組みへの理解を深めた	○	○	○	○	○	○						【評価】 ◆ 環境保全型農業や農業体験、地産地消について関係機関団体と連携し、推進していることを評価する。
		事業者	◆ 減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業に取り組みます。	◆ 減化学合成農薬・減化学肥料などによる環境保全型農業による農産物(米・野菜)の生産。また、生産者に対し交付金による支援を実施												
					○	○	○	○	○	○						

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
2) 農業と のふれ あいの 場の提 供・確 保			◆ 用排水路など地域の共同管理している箇所環境の維持に努めます。												【課題】 ◆ 環境にやさしい農業の促進は自然環境の保全につながることから、それを支える取り組みが大切であり、理解や関心を高めてもらうため、引き続き農業体験の充実や地元農畜産物を活用した食育・地産地消の推進が必要である。「安全な食」の宝庫である滝川市であるが、その分野での認知度が高いとは言えない。引き続き、関係各課、機関団体等と連携し、目標達成に向けた取り組みを継続的に行うことを期待する。
		市	◆ 減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の情報提供や支援に努めます。												
	地産地消 の推進	市民	◆ 地元農畜産物の積極的な購入や中食・外食においては地産地消認定店の活用や地元農畜産物を活用したメニューを選ぶなど地産地消を推進します。	◆ そらちワイン×ワインFestaで滝川の食の魅力を発信	○	○	○	○	-	-					
				◆ たきかわ地産地消認定店ガイドブック及び滝川地産地消協議会フェイスブックによる地産地消メニュー情報の発信	○	○	○	○	○	○					
		事業者	◆ 地元農畜産物を活用したメニュー提供やレシピのPRなどを行い、普及に努めます。	◆ たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデンの開催(地産地消認定店の出店)	○	○	○	○	☆	○					
				◆ 年6回市内小学校で市内生産者による農作物の授業及び交流給食	○	○	○	○	○	○					
	食育の推 進	市	◆ 地産地消の給食の実施に努めます。	◆ ちよっ蔵まつり、道の駅たきかわ大収穫祭、たきかわ農業まつりにおける新米PR活動の実施	○	○	○	○	☆	☆					
				◆ 広報たきかわにおける地産地消特集の掲載	○	○	-	-	-	-					
		市民	◆ 日常生活の中で健全な食生活の維持に努め、食を通じて自然の恩恵に対する理解を深めます。	◆ 第3次食育推進行動計画の策定	-	-	-	○	-	-					
				◆ 11月24日の「いい日本食の日」にちなみ、町内会の班回覧を通じて和食の普及啓発を実施	-	-	○	○	○	○					
		事業者	◆ 食育に必要な地元農畜産物や場の提供に努めます。	◆ 生活習慣病予防料理教室、料理づくりのつどいの開催 「滝川おもしろ食育塾」での稲作体験と調理実習の実施(平成28～29年度)	○	○	○	○	○	○					
		市	◆ 食育を実践するため、行政機関や関係団体、事業者などと連携調整に努めます。	◆ 滝川市食育推進市民会議並びに滝川市食育推進市民会議専門部会の開催	○	○	○	-	-	-					
				◆ 第3次食育推進行動計画策定に向けた策定ワーキングの開催	○	-	-	-	-	-					
2) 農業と のふれ あいの 場の提 供・確 保	農業体験 の普及啓 発	市民	◆ 農業体験などの事業に参加します。 ◆ 市民農園などを活用します。	◆ 「そらちDEいいね」を介した農業体験受け入れ事業の実施	○	○	○	○	○	○					
				◆ 学校において、授業の一環として野菜などの栽培を実施した	○	○	○	○	○	○					
				◆ JA青年部やとんぼの会が実施する農業体験学習等に参加	○	○	○	○	○	○					
		事業者	◆ 農地見学などを受け入れることができる体制の整備を行います。	◆ 市民農園などを活用した、家庭菜園づくりにより農業に親しんだ	○	○	○	○	○	○					
				◆ 滝川緑の少年団員を募集し、緑の募金活動、不法投棄の清掃、植樹、川下り、稲刈り、脱穀などの農業体験を行った	○	○	○	○	○	○					
			◆ 農業体験学習の講師として行政などに協力します。	◆ 広報やホームページで市民農園に関する情報提供を行い、市民の利用を促進した	○	○	○	○	○	○					
			◆ 体験農園などの企画・運営を行政などと協力して行います。	◆ JAたきかわや行政が協力し、市民農園の運営を行った	○	○	○	○	○	○					
					○	○	○	○	○	○					

環境コミュニティ

目標4:みんなが学び、共有することによる環境保全の環(わ)が広がるまち

令和7年3月末	達成目標
環境学習リーダーの人数	第1次計画からの累計 350人
環境市民大会における参加者の平均評価点	85点以上
※令和3年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。	

ア 環境に関する情報の発信と共有

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1) 情報の提供と共有	地域における環境活動の取り組み状況などの情報収集や情報提供	市民	◆ たきかわエコネットに登録した団体などの取り組み状況への関心を深めます。	◆ 企業がボランティア活動を行う団体に支援を行っている活動に、環境学習リーダー活動や環境保全活動行う団体を推薦し活動を支援した。	○	○	○	○	○	○					【評価】 ◆ 年次報告書の発行、環境保全活動団体の支援等を継続していることを評価する。 【課題】 ◆ 引き続き、エコネット登録団体との連携強化、ホームページや広報等を活用した登録団体のPR等を行い、各団体との結びつき強化を期待する。
		事業者	◆ 環境に関する事業の実施・情報提供を行います。	◆ 「エコ部！」の指導をエコネット登録団体に依頼し、連携強化を図った	○	○	-	-	-	-					
		市	◆ 環境基本計画に基づき実施された状況を明らかにするために年次報告書を作成し、公表します。	◆ ホームページ「たきかわエコネットコーナー」に登録団体主催のイベント情報を掲載した	○	○	○	-	-	-					
				◆ 事業者向けの情報もホームページ上に掲載し周知を行った	○	○	○	○	○	○					
				◆ 年次報告書を作成・ホームページ上で公表した	○	○	○	○	○	○					
			◆ 各環境団体にたきかわエコネットへの登録を促し、それらの環境活動の情報を発信し共有することで、活動への参加を促進します。												
			◆ たきかわエコネットに登録した団体などを支援し、それらの結びつきを強め、活動の活性化につなげます。												

イ 環境教育の充実

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1) 環境学習・環境保全活動の促進	環境学習・環境保全活動に関するイベントの実施	市民	◆ 環境学習・環境保全活動に関するイベントに参加します。	◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○					【評価】 ◆ 新型コロナウイルス感染予防対策を行い、環境市民大会「環境シンポジウムin 滝川高校」を実施したことを評価する。 ◆ 環境学習リーダーについては新型コロナウイルス感染予防のため、当初予定していた保育園児との交流の実施を見送ったが、リーダー側と園児側に分かれ模擬的な交流を行ったことを評価する。 【課題】 ◆ 関係機関との調整・打ち合わせを行い、環境教育やエコドライブ普及促進活動が、行政主体から短大・高校・企業主体へとスムーズに移行できるように準備していく必要がある。
			◆ 環境に配慮した行動を実践できるよう、学習し、理解を深めるとともに学んだことから自発的な興味・関心を広げます。												
		事業者	◆ 事業所を環境学習の見学現場として提供するなど環境学習の取り組みの支援・協力を行います。	◆ 空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」でのエコカー展示(水素燃料発電装置搭載)とエコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験ブースの出展	☆	○	☆	○	☆	☆					
		市	◆ 環境市民大会を開催し、環境に関する情報提供に努めます。	◆ 「環境シンポジウムin開西中学校」を実施	-	-	-	○	-	-					
			◆ 環境学習・環境保全活動に関するイベントの開催に当たっては、市内の実践者などの人材に協力を求めます。	◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施	○	○	○	○	-	-					
				◆ 「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした	-	-	○	○	-	-					

[illegible]

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和3年度実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		事業者	◆ 環境学習リーダー養成のため事業者が保有している環境情報や実践している環境保全活動について、情報提供を行い、身近な環境学習の創出に協力します。	◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○					
		市	◆ 環境学習リーダー養成講座を継続し、リーダーの育成を推進します。 ◆ 高校生ボランティアチーム「エコ部！」の活動の検証を行い、次世代リーダーの養成につなげます。	◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施	○	○	○	○	-	-					
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	○	○	○	○	-	-					
				◆ COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした	-	-	○	○	-	-					
				◆ 「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」、「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施	-	○	-	-	-	-					
				◆ 小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センター等と連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施	-	○	○	-	-	-					
				◆ 市立図書館主催の夏休み「調べる学習コンテスト」に参加し、「エコ部！」が夏休みに実施した特別イベントをとおして、子ども達が「地球温暖化」について、調べ・まとめる機会を提供	○	○	-	-	-	-					
				◆ 児童センターで地球温暖化防止に特化した環境授業を実施	○	○	○	-	-	○					
				◆ 國學院大學北海道短期大学部舩井ゼミ、まちつく6、「エコ部！」が協働で実施した食育イベントにおいて、市内稲作農家にご協力いただき、環境保全活動や稲作栽培についてのワークショップに参加した後、道の駅で「米」をテーマにしたイベントを実施	○	-	-	-	-	-					